

第3部 名刺交換会・懇親会

登壇者との意見交換、新たな人脈形成、提携先の発見等、地元の経営者が一同に会するこの機会をぜひ活用下さい。

17:20～18:20 東京三協信用金庫本店9階ホール
(17:00受付開始・ウェルカムドリンク)

会場内では、お近くの信用金庫職員(支店職員)がご要望に合わせ、貴社に合った商談・相談相手をご紹介します。

※会費2,000円となります。原則、事前申込み・お支払いとなります。

※スペースの関係上、定員を100名とさせていただきます。

会場へのアクセス



- JR山手線「高田馬場駅」下車徒歩3分
- 東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩3分
- 西武新宿線「高田馬場駅」下車徒歩3分

第3部
東京三協信用金庫本店

※当日はこのパンフレットと名刺をお持ち下さい。

参加申込フォーム

申込締切：9/11(木)

- ①下記の必要事項をご記入いただき、このページをコピーして下さい。
- ②このパンフレットをお渡しした信用金庫職員(本部職員、各店舗長)にコピーを直接、もしくはFAX(03-3200-7189)にてお渡しください。

企業・団体名： _____
 記入者名： _____
 住所： _____
 電話： _____ E-mail： _____

第1部、第2部

参加人数： _____ 名
 参加者名： _____ 様 _____ 様 _____ 様

第3部(名刺交換会・懇親会)

参加人数： _____ 名
 参加者名： _____ 様 _____ 様 _____ 様
 領収書宛名： _____

※本申込フォームにご記入いただいた個人情報等は、本フォーラムの運営に必要な諸連絡・確認以外の目的には使用致しません。

〈主催者使用欄〉 店： _____ サ： _____

東京三協信用金庫 ビジネスフォーラム 2014

地域資源を新たな角度から捉える! ⇄

中小企業のビジネス戦略

日時 2014年9月18日(木) 14:00～18:20

受付 13:30～ 名刺交換会 17:20～

会場 第1部・第2部 東京富士大学 二上講堂 参加費 無料

(東京都新宿区下落合1-9-7
西武新宿線・東京メトロ東西線・JR線 高田馬場駅から徒歩5分)

第3部 東京三協信用金庫本店 参加費 2,000円

定員 500名 (原則予約制ですが、定員に余裕があれば当日受付も可能です)

主催 東京三協信用金庫

特別協力 東京富士大学

後援 新宿区/東京商工会議所新宿支部/
日本政策金融公庫新宿支店/信金中央金庫/
一般社団法人東京都信用金庫協会/
一般社団法人新宿観光振興協会/
高田馬場銀座商店街振興組合

申込方法 裏面の「参加申込フォーム」よりお申込み下さい。

プログラム

開会挨拶 (14:00～14:15)

第1部 基調講演 (14:15～15:15)

「ヒントは足元にある！」
中小企業経営者が活かすべき“地の利”とは
江上 剛氏 (作家・コメンテーター)

第2部 “ビジネスアイデア”発掘サミット (15:25～16:50)

「地域の特性を活かした事業戦略」

毎回好評の企画も3回目となりました。今回は少し視点を変えて「地域の資源をいかに事業に活かすか」という課題に挑みます。プランを発表するのは、東京三協信用金庫主催の経営塾Terra小屋に所属する若手経営者と現役大学生(特別協力の東京富士大学の強化サークル「ビジネス研究塾」の学生)です。

第3部 名刺交換会・懇親会 (17:20～18:20)

登壇者との意見交換、新たな人脈形成、提携先の発見等、地元の経営者が一同に会するこの機会をぜひ活用下さい。

第1部 基調講演 (14:15～15:15)**「ヒントは足元にある！
中小企業経営者が活かすべき“地の利”とは」**

江上 剛氏

<プロフィール>

作家・コメンテーター。

1977年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業後、旧第一勧業銀行(現みずほ銀行)入行。本部、高田馬場・築地各支店長を経て2003年3月に退行。97年第一勧銀総会屋事件に遭遇し広報部次長として混乱収拾に尽力。その後のコンプライアンス体制に大きな役割を果たす。この事件を元にした映画「金融腐蝕列島」(原作:高杉良、主演:役所広司)のモデルとなる。銀行員としての傍ら、2002年「非情銀行」で小説家デビュー。

**第2部 “ビジネスアイデア”発掘サミット** (15:25～16:50)**「地域の特性を活かした事業戦略」**

住む人・学ぶ人・働く人、さまざまな目的で人が行き交う街、高田馬場を題材に、新たなビジネスのカタチを企画提案します。

今回の課題は、

伝統文化・和文化を活かした観光事業の創出 **地域ブランドにつながる食ビジネスの創出**

高田馬場を知り尽くす二人の特別ゲストの解説付きで、若手経営者(経営塾「Terra小屋」5期生)と、現役大学生(東京富士大学)が独自の視点からアイデアを発表します。

参加者の皆さんも、ご自身が働く地域にどんな隠れた資源が眠っているのか、どう掘り起こせばビジネスが活気づくのか、一緒にお考え下さい。

コーディネーター紹介

山川 悟氏 (東京富士大学経営学部 教授)

<プロフィール>

マーケティング論、ブランド論、創造性開発などを担当。

広告会社での実務経験を経て、2008年4月より現職。

著書に『コンテンツがブランドを創る』『不況になると口紅が売れる』などがある。

第2部 “ビジネスアイデア”発掘サミット

課題1 「伝統文化・和文化を活かした観光事業の創出」

課題設定の背景

- ・「歌舞伎町」「神楽坂」だけではなく、高田馬場にも豊富な観光資源がある。
- ・2020年東京での五輪開催が決まり、外国人観光客を増やす施策が増えてくる見込みである。

提案における留意点

- ・日本人にとってはごく当たり前のことでも、外国人には日本特有の魅力となり、“クール”だと感じることもある。
- ・焦点を当てる地域文化を明確にし、観光客が滞在して楽しめるツアープランとして提案する。併せて、外国人が買っていきたいと思うような高田馬場みやげを提案する。

特別ゲスト紹介 / 原 緋彩恵氏 (和ごころ講座「花鳥風月」, 「和Café」主宰)

～ 活動内容 ～

茶道や染色、合気道といった日本の伝統文化が息づく高田馬場を拠点に、若い人や外国人に和の心を伝えている。また、和食を通じて「おもてなし」の日本文化を体験できる講座を企画している。

第2部 “ビジネスアイデア”発掘サミット

課題2 「地域ブランドにつながる食ビジネスの創出」

課題設定の背景

- ・高田馬場にはラーメンを始めとして、ユニークな食文化が存在している。(ミャンマー料理、手塚治虫のリクエストでできたという上海焼きそばのお店等)
- ・「新大久保といえば韓国料理」と言われるような、地域と結びついた食ブランドは定着していない。

提案における留意点

- ・高田馬場を都内でも有力な“食文化発信地区”にするためのビジネスプランを提案する。その際に高田馬場みやげの開発案を提示する。

特別ゲスト紹介 / 向井 直也氏 (高田馬場新聞 編集長)

～ 高田馬場新聞とは ～

高田馬場の情報を発信するWEBマガジン。ユニークな視点で人・お店・企業・文化・歴史・食・イベントなどの魅力を切り出し、スパイシーな語り口で伝えて行く地元有力紙である。

ホームページ <http://babashinbun.com/>